



基労補発第12号
平成13年4月27日

都道府県労働局
労働基準部長 殿

厚生労働省労働基準局
労災補償部補償課長

「診断書及びレセプトから見た長期療養者に係る療養（補償）給付上の問題点」（適正給付に係る参考資料）の送付について

標記資料については、近年、骨折等の長期療養者が増加する傾向にあることから、これらの傷病に係る実態を把握し適正給付対策の推進に資するため、骨折等の長期療養者の一部について診断書及びレセプトを収集し、問題点等を分析した結果をとりまとめたものである。

については、これを下記のとおり配付するので、適正給付対策を推進する上での参考として活用されたい。

記

送付部数 _____ 部

診断書及びレセプトから見た長期療養者に係る療養（補償）給付上の問題点

- 1 対症療法のみで療養を継続している事例・・・（事例 1～事例 9）
- 2 治ゆ見込み時期が示されているものの療養を継続している事例・・・・・・・・・・（事例 10～事例 17）
- 3 アフターケアの活用を図るべきと思われる事例・・・・・・・・・・（事例 18～事例 23）
- 4 治ゆ（症状固定）について、行政の説明が十分でないあるいは主治医の理解が十分でないと思われる事例・・・・・・・・・・（事例 24～事例 27）

厚生労働省労働基準局
労災補償部補償課

はじめに

労災保険の給付を受けながら長期にわたり療養を継続する者（以下「長期療養者」という。）については、昭和59年に策定した「適正給付管理の実施について（昭和59年8月3日付け基発第391号）」に基づき、労災保険の適正な給付について積極的な対応を図った結果、その数は漸次減少してきたところであるが、平成8年度からは一転して増加傾向を示し現在に至っている。

この増加の要因としては、主にじん肺による長期療養者の増加が反映したものであるものの、一般にそれほど長期に療養するものとは考えにくい「骨折」、「関節の障害」等についても増加する傾向を示す状況にある。

そこで、本省においては、報告例規補408（傷病別長期療養者推移状況報告）の傷病名が「その他の患者」に該当する者であって、療養期間が3年を超えるものの一部について、当該者に係る診断書や直近3カ月間のレセプトを収集し、長期療養者の現況を分析したところである。

その結果、これらの者の療養が長期にわたる理由については、多くの事案において種々の要因が複合する等により治ゆの認定が困難となっている状況が窺われたところであるが、一方、療養が長期にわたることについて合理的な理由が存在しないと考えられる事案も少なからず認められたところである。

本資料は、療養が長期にわたることについて合理的な理由の存在しない事案の分析において、多くの事案に共通した問題点として以下の4形態に類型化されたので、その分類に基づき、それぞれ事案ごとに適正給付担当者としての着眼点をまとめたものであり、診断書やレセプトの確認の際の参考として活用されたい。

- ① 対症療法のみで療養を継続しているもの
- ② 診断書において治ゆ見込み時期が示されているものの療養を継続しているもの
- ③ アフターケアの活用を図るべきと思われるもの
- ④ 治ゆ（症状固定）について、行政の説明が十分でないあるいは主治医の理解が十分でないと思われるもの

凡 例

- 1 診断書は、労働者災害補償保険法施行規則第19条の2第2項に基づき提出されたものである。

なお、診断書の①は過去1年間の療養内容及び経過、②は今後6カ月の療養等の見通しを記載したものである。

- 2 レセプトの①は診療内容、②は傷病の経過を記載したものである。

- 3 事例について傷病別の索引を次頁に掲げているので、活用されたい。

- 4 それぞれの事例の診断書及びレセプトの写しを別冊として作成しているので、参照されたい。

傷病別索引

1 骨折

- ・ 鼻骨骨折 ----- (事例 3)
- ・ 胸椎、腰椎脱臼骨折 ----- (事例 10)
- ・ 腰椎圧迫骨折 ----- (事例 26)
- ・ 骨盤骨折 ----- (事例 1)
- ・ 橈骨骨折 ----- (事例 6)、(事例 27)
- ・ 下腿骨骨折 ----- (事例 5)
- ・ 大腿骨骨折 ----- (事例 21)
- ・ 踵骨骨折 ----- (事例 9)、(事例 12)
- ・ 距骨骨折 ----- (事例 15)
- ・ 母趾骨折 ----- (事例 7)

2 切断

- ・ 前腕切断 ----- (事例 19)

3 創傷

- ・ 右手挫創 ----- (事例 8)
- ・ 左小指挫滅創 ----- (事例 13)
- ・ 脳挫傷 ----- (事例 11)、(事例 18)、(事例 22)

4 その他

- ・ 腰部捻挫 ----- (事例 2)、(事例 24)
- ・ 腰部打撲 ----- (事例 4)
- ・ 頸髄損傷 ----- (事例 14)
- ・ 肘関節拘縮 ----- (事例 16)
- ・ 骨髓炎 ----- (事例 17)
- ・ 熱傷 ----- (事例 20)
- ・ 外傷性角膜裂傷 ----- (事例 23)
- ・ 外傷性足根管症候群 ----- (事例 25)

（別冊）

診断書及びレセプトからみた長期療養者に係る療養（補償）給付上の問題点

（診断書及びレセプト）

目 次

(事例 1)	1
(事例 2)	5
(事例 3)	9
(事例 4)	13
(事例 5)	17
(事例 6)	21
(事例 7)	25
(事例 8)	32
(事例 9)	36
(事例 10)	40
(事例 11)	45
(事例 12)	49
(事例 13)	53
(事例 14)	57
(事例 15)	62
(事例 16)	66
(事例 17)	74
(事例 18)	78
(事例 19)	82
(事例 20)	86
(事例 21)	90
(事例 22)	94
(事例 23)	98
(事例 24)	104
(事例 25)	108
(事例 26)	114
(事例 27)	121